

目次

第1章 研究の概要

1-1. 研究の構成	1
1-2. 研究の背景	1
1-3. 研究の成果目標	1
1-4. 研究成果の活用方針	3

第2章 災害時の被害を最小化するための総合研究

2-1. 研究の概要	5
2-2. 災害に対応した人工衛星利用技術に関する研究	5
2-3. 氾濫解析データの作成手法と内水・外水の同時解析モデルの構築	6
2-4. 氾濫予測用航空レーザスキャナのデータ標準の構築	7
2-5. リアルタイム火山ハザードマップの作成	7
2-6. 災害情報システムの必要機能の明確化・災害対応業務モデルの構築	7

第3章 良好な生活環境と地球規模の環境保全のための総合研究

3-1. 研究の概要	9
3-2. リモートセンシング技術による都市緑地環境のモニタリング手法の構築	9
3-3. 水害リスクの評価に必要な土地被覆状況等の把握手法の構築	10
3-4. グラントゥールスデータを活用した土砂移動現象把握手法の開発	11
3-5. 衛星データの精密幾何補正、自動補正アルゴリズムの開発	12

第4章 国土管理情報を円滑に運用し情報公開するための総合研究

4-1. 研究概要	13
4-2. 先端技術を活用した国土管理情報基盤技術の開発	13
4-3. 建設ITの高度化に向けたCAD標準技術の開発	14
4-4. GISを活用した次世代情報基盤に関する研究	14
4-5. ハイブリッド型高精度位置特定技術仕様の作成	14
4-6. 異なるシステムを共通環境で利用するデータ連携手法の構築	15

第5章 研究成果

5-1. 研究実施体制	16
5-2. 研究成果と目標に対する達成状況	16
5-3. 研究成果の活用状況	19
5-4. 研究成果の公表状況	20

第6章 新たな課題と研究の方向性

- 6-1. 最近の技術成果や研究上の知見を反映した継続的な研究課題…………… 23
- 6-2. 今後の研究の方向性…………… 24

第7章 個別課題の内容

- 7-1. 氾濫解析データの作成手法と内水・外水の同時解析モデルの構築…………… 29
- 7-2. 氾濫予測用航空レーザスキャナのデータ標準の構築…………… 35
- 7-3. 水害リスクの評価に必要な土地被覆状況の把握手法の構築…………… 41
- 7-4. グラントゥルースデータを活用した土砂移動現象把握手法の開発…………… 45
- 7-5. リアルタイム火山ハザードマップの作成…………… 49
- 7-6. 災害情報システムの必要機能の明確化・災害対応業務モデルの構築…………… 53
- 7-7. リモートセンシング技術による都市緑地環境のモニタリング手法の構築…………… 67
- 7-8. 衛星データの精密幾何補正、自動補正アルゴリズムの開発…………… 73
- 7-9. 災害等に対応した人工衛星利用技術に関する研究…………… 79
- 7-10. 建設ITの高度化に向けたCAD標準化技術の開発…………… 97
- 7-11. 先端技術を活用した国土管理情報基盤の開発…………… 105
- 7-12. ハイブリッド型高度精度位置特定技術仕様の作成…………… 113
- 7-13. 異なるシステムを共通環境で利用するデータ連携手法の構築…………… 121